

平成 30 年 6 月 28 日現在

機関番号：62608

研究種目：基盤研究(C) (一般)

研究期間：2014～2017

課題番号：26370224

研究課題名(和文)『舞の本絵巻』を中心とした幸若舞曲の絵入り本の調査研究

研究課題名(英文) Research of the illustrated book of "kouwakabukyoku" mainly on "mainohon-emaki"

研究代表者

小林 健二 (kobayashi, kenji)

国文学研究資料館・研究部・教授

研究者番号：70141992

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 3,100,000円

研究成果の概要(和文)：本計画は、室町後期に流行した語り物芸能である幸若舞曲が、江戸期に入って芸能としては消滅したが、絵巻や絵本、屏風絵など視覚文芸として新たに享受された様相を具体的にとらえ、文化的な展開を明らかにすることを目的とする。

幸若舞曲の絵入り本に関しては、すでに基礎的研究として、現在確認される作例を「幸若舞曲の絵入り本一覧稿」に集成していたが、本計画ではそれ以降に発見紹介された資料を博搜し、個人蔵や地方所在の資料を加えてリストの充実をはかり増補改定版を刊行することができた。また、チェスタービーティ・ライブラリー『舞の本絵巻』や海の見える杜美術館『舞の本絵本』を調査し、江戸前期の絵入り本史に位置付けた。

研究成果の概要(英文)：The Kowakabukyoku, a narrative performing art who was popular at the end of the Muromachi period, disappear as performing art at the beginning of the Edo period, but it revived, as a visual art, in illustrated scrolls and books, folding screens, etc. This project's purpose was to examine the concrete aspect and the cultural development of this renewed reception. About the illustrated books on Kowakabukyoku, there is already the basic research result collected in the Kowakabukyoku no e-iri ranko, the present project by examining texts not yet introduced in this work, and adding documents from private collections or located in local places, was able to edit an augmented version much more complete. Furthermore, I examined the Mai no hon emaki held at the Chester Beatty Library and the Mai no hon ehon held at the Umi no mieru mori Museum and position it in the history of illustrated books of the beginning of the Edo period.

研究分野：室町期文芸

キーワード：幸若舞曲 絵巻 絵本 舞の本 屏風絵

## 1. 研究開始当初の背景

中世の語り物芸能である幸若舞曲は、近世に入ると浄瑠璃など新興の芸能に人気を奪われ、語り物芸能としては衰退していったが、その起伏に富んだ多彩な物語性から、中編・短編の読み物として根強い人気を有していた。

室町時代から江戸時代へと大きな歴史転換を迎えた時期に、文化の面では文芸の視覚化が押し寄せたが、幸若舞曲もその大波に乗って多くの絵巻・絵本が作られ、また江戸初期に絵入りの版本である「舞の本」三十六番が刊行されるなど、視覚文芸としての新しい受容がなされるようになる。

幸若舞曲研究は昭和40年代から盛んになってきたが、軍記物語などと同じく語り物文芸として本文や伝本の研究が中心に行われてきた。それらが一段落したところで、ようやく絵入り本としての文芸的展開や受容史が注目されるようになってきたのである。

さて、申請者は平成13年に刊行した『中世劇文学の研究 能と幸若舞曲』(三弥井書店)に、現存する幸若舞曲の絵入り本を俯瞰するため「幸若舞曲の絵入り本一覧稿」を作成し、そこに約230点の作例を示した。絵巻・絵本の研究者によると、江戸前期における絵入り本の作例は約2000点になるとのことであるが、その一割以上が幸若舞曲なのであり、絵入り本研究の上で無視できない作品群となりつつあった。

それから十余年を経て新しく発見されたもの、紹介されたものがかなりの数にのぼってきた。これらの作例は多種多様であり、一様にとらえることはできないものの、個別的な調査を積み重ねることにより、全体的な傾向を把握することは可能であろうとの構想で、本計画を立てた次第である。その成果は、文学史研究はもちろんのこと、美術史や芸能史の研究にも一石を投ずるものとなると思われる。

ところで、幸若舞曲の絵入り本の中でも『舞の本絵巻』は、江戸初期に刊行された絵入り版本「舞の本」三十六番(尾崎雅嘉編『群書一覧』(享和二年(一八〇二)刊)によると、入鹿・大織冠・百合若大臣・信田・満仲・伊吹・夢合せ・馬揃・浜出・築島・硫黄が島・文学・木曾願書・敦盛・那須与一・景清・伏見常葉・常盤問答・笛の巻・未来記・烏帽子折・腰越・堀川夜討・四国落・富樫・笈搜・八島・清重・高館・元服曾我・和田酒盛・小袖曾我・剣讃嘆・夜討曾我・十番切・新曲の三十六番)を粉本に江戸時代前期に製作された豪華絵巻で、揃っていれば40軸余りの大部な作例となり、幸若舞曲の絵入り本化を象徴する作例であり、例えば『太平記絵巻』十二軸(内、十軸存。埼玉県立歴史と民俗の博物館蔵五軸「一・二・六・七・十」巻、ニューヨーク公共図書館スパンサーコレクション蔵二軸「三・八」巻、歴史民俗博物館蔵三

軸「五・十一・十二」巻) 某家蔵「源平盛衰記絵巻」十二軸、海の見える杜美術館蔵「保元・平治物語絵巻」十二軸などと並ぶ豪華な揃い絵巻で、江戸前期の文芸の視覚的展開を考えるうえで重要な作例となると考えられるものである。

残念ながら現在では散逸し、国内外の図書館や美術館に全体の三分の一ほどが所蔵されるが、本研究を開始する時点でベルリン・アジア美術館に散逸した一本が所蔵されているとの情報もたらされ、また、広島県廿日市の海の見える杜美術館に、『舞の本絵巻』と同趣向の「舞の本」三十六番を粉本とした絵本四十七冊が所蔵されることも知られ、それらを含めた『舞の本絵巻』を軸とした、幸若舞曲絵入り本の総合的研究を考えるにいたった。従って、本研究は『舞の本絵巻』を中心に行った次第である。

## 2. 研究の目的

本研究の具体的な内容と、3年間を通しての目指す到達点は以下の通りである。

1) 幸若舞曲を題材とした絵巻・絵本の調査  
平成13年に作成した「幸若舞曲の絵入り本一覧稿」以降に発見紹介された資料を探索し、リストの充実をはかる。その上で、主要な伝本に関しては実地調査を行い、デジタル撮影を行う。また、屏風絵や画帖など美術関係資料についても探索し、リストに新しい項目を設けて拡充をはかる。

2) 『舞の本絵巻』の総合的な調査  
現在、『舞の本絵巻』は、チェスター・ビーツィ・ライブラリー「百合若大臣」「高館」「景清」「伏見常盤」「常葉問答」「笛の巻」「未来記」「剣讃嘆」「大織冠」、ニューヨーク公共図書館スパンサーコレクション「夜討曾我」、ベルリン・アジア美術館「烏帽子折」、慶應義塾大学図書館「伊吹」「那須与一」、國學院大學図書館「清重」、聖徳大学川並記念図書館「敦盛」、日本大学学術情報センター「元服曾我」「和田酒盛」「小袖曾我」「十番切」「文覚」「夢合わせ」「馬揃へ」「烏帽子折」「大織冠」、甲子園学院美術資料館「八島」「木曾願書」の諸作例が知られるが、それらの挿絵画風・詞書筆跡・体裁などを総合的に調査し、本文上の位置付けはもちろん、製作の目的や状況について検討した。特にこれまで見過ごされていた装丁や箱に記された情報を精査することにより、製作状況の判明を目指した。

3) 調査・研究の成果発信

調査研究して得た成果を国内外の学会や研究会で発表し、研究者の幸若舞曲の絵入り本に対する興味をうながし、今後連携して研究していく方策を探った。また、『舞の本絵巻』に関しては国内外に未紹介のものが存

在することが考えられるので、その発見と報告を呼びかけた。

以上、1～3の活動によって、芸能としては勢いを失った幸若舞曲が、江戸時代に入ってから視覚芸文の世界で享受されていた諸相を『舞の本絵巻』を中心に明らかにすることを目的とした。このことは、国文学者の幸若舞曲の絵入り本に対する関心を喚起するだけでなく、美術史や芸能史の研究にも益するものとなると思われる。

### 3. 研究の方法

実施期間の前半では、「幸若舞曲の絵入り本一覧稿」の拡張充実をはかり、『舞の本絵巻』を軸に現存する幸若舞曲の絵入り本資料を俯瞰した上で、広島県廿日市市海の見える杜美術館『舞の本絵本』や島根県出雲市手銭記念館『烏帽子折絵巻貼交屏風』など、重要と思われる伝本について実地調査を行った。

調査は絵入り本用のカードにより書誌を中心に詳しいデータをとったが、本文の筆跡や挿絵の情報はもちろん、絵入り本の製作状況を知るために装丁など体裁に関わる事項を詳しく記録した。また、カードと連動して所蔵者の許可を得て、デジタル撮影により必要な情報を収集した。

実施期間の後半は、調査によって得られた情報を研究補助者の協力を得て入力整理し、その上で伝本間の位置づけや個別の特長について検証を行い、新知見が得られた資料については翻刻を行い、特色のある図柄はデータとして保管し、今後の研究に備えた。具体的な内容は以下の通り。

[平成26年度]

#### 1) 「幸若舞曲の絵入り本一覧稿」の充実

研究補助者の協力を得て、平成13年以降に刊行されたものを中心に、これまで見落としていたものを含めて図書館・文庫の目録や解題、または書肆の売り立て目録を渉猟して「幸若舞曲の絵入り本一覧稿」の充実をはかった。また、作例によりWeb上で画像が閲覧できるものはそのURLを記して利用の便をはかった。

#### 2) 『舞の本絵巻』の調査研究と成果報告

『舞の本絵巻』伝本のうち未見のベルリン・アジア美術館所蔵の「烏帽子折」絵巻に関する情報を収集し、その上で、これまでの伝本研究の成果や問題点を、国際的な研究集会であるEAJS(会場はスロベニアのリュブリャナ大学)で、パトリック・シュウェマー氏(プリンストン大学)、ケラー・キンブロー氏(コロラド大学)、井戸美里氏(東京大学東洋文化研究所)の三人と「変革期における幸若舞曲の展開 絵画化を軸として」をテーマにパネルを組んで報告し、『舞の本絵巻』や幸若舞曲の絵入り本化に対する国内外の

学界における関心の喚起をはかった。

[平成27年度以降]

#### 1) 幸若舞曲の絵入り本の調査

神戸女子大学古典芸能研究センター・岩瀬文庫・東京都立図書館加賀文庫・思文閣などに所蔵される幸若舞曲の絵入り本の調査を行い、また、前年度の目録等による文献資料の調査により新たに判明した重要資料と思われる手銭記念館『烏帽子折絵巻貼交屏風』について調査を実施した。調査方法は前年度と同様に、絵画・詞書・体裁について詳細に行い、所蔵者の許可を得てデジタル撮影を実施し、許可が得られない場合はデジタル・データを入手した。

#### 2) 『舞の本絵巻』の調査

ダブリンのチェスター・ビーティ・ライブラリーの調査を実施し、『舞の本絵巻』6軸(巻一「ゆりわか大臣」、巻二「高たち」、巻三「景清」、巻四「伏見ときは・常葉もんだん」、巻五「笛のまき・未来記・つるぎさんだん」、巻六「たいしよくはん」)の熟覧調査を行い、画像データからだけではわからない書誌情報を得た。

また、ベルリン・アジア美術館本「烏帽子折」絵巻については、先方の都合で現物の調査は出来なかったが、詳細に調査されたメラニー・トレーデ氏(ハイデルベルク大学)や酒井公子氏(ハイデルベルク大学修士課程修了生)より情報を入手し、他本との比較をすることが出来た。

#### 3) 調査資料の整理

実地調査した資料のデータを研究補助者の協力を得てファイルに入力し、さらに翻刻などの基礎的なデータ一覧を作り、作例によってはテキスト・データの作成を行った。

#### 4) 撮影した画像データの整理

撮影した画像データを研究補助者の協力を得てPCに入力整理し、書誌データと対応させたデータ一覧を作った。

#### 5) 調査資料の研究

調査を行った資料のうち重要と思われる手銭記念館『烏帽子折絵巻貼交屏風』について翻刻作業を行った。また他の伝本や関連資料と合わせて検討し、伝本間の位置付けをはかった。

#### 6) 幸若舞曲を題材とした屏風絵の調査

個人蔵「義経一代記図屏風」六曲一隻を若手の研究者と研究会を催して精査し、内容に幸若舞曲の「伏見常盤」「靡常盤」「山中常盤」「烏帽子折」「富樫」「笈搜」「八鳥」「高館」「含状」を描き込み、さらに能や古浄瑠璃の作品と紡ぎ合わせて構成されていることを分析した。これにより、江戸時代の初期に軍

記物語の『義経記』以外に源義経の一代記を構想する文芸的な動きがあったことが浮上し、判官物研究(義経物研究)に一石を投ずることができると思われ、この推察はさらに図様の分析を重ねていくことにより強固になると思われる。

#### 4. 研究成果

海外の資料については、最大の目標であったアイルランドのダブリンにあるチェスター・ピーティ・ライブラリーの『舞の本絵巻』と『村松物語絵巻』を調査することができた。この調査によって、これらの絵巻が大家など有力な富裕層によって制作された可能性や、伝来の一端などの新知見を得ることができた。

国内では海の見える杜美術館蔵の『舞の本絵巻』(「いるか」一冊六図・「ゆりわか」二冊十三図(一図)・「した」二冊十五図(二図)・「まんちう」二冊十一図(一図)・「いふき」一冊八図(一図)・「伏見ときは」一冊九図・「つきしま」二冊十二図(三図)・「いわうか嶋」一冊四図(一図)・「もんかく」一冊十一図(一図)・「夢あはせ」一冊四図・「馬そろへ」一冊四図(二図)・「木曾願書」一冊四図・「あつもり」下二冊六図巻上欠・「景清」二冊十六図(一図)・「九穴貝」一冊四図(一図)・「常葉もんたう」一冊六図・「笛のまき」一冊五図・「未来」一冊四図・「鞍馬出」一冊五図(二図)・「えほし折」二冊十三図(二図)・「こしこへ」一冊五図・「ほり川夜討」一冊九図・「四国落」一冊六図(一図)・「とかし」一冊七図(一図)・「笈さかし」一冊七図・「屋しま」二冊十一図(三図)・「きよしけ」一冊七図・「高たち」二冊十四図(三図)・「元服曾我」一冊六図(一図)・「和田さかもり」二冊十図(四図)・「小袖曾我」一冊七図(一図)・「剣さんたん」一冊六図(一図)・「夜討曾我」二冊十二図(二図および五丁連続図一図)・「十番切」下二冊六図巻上欠・「張良」一冊五図(一図)・「新曲」二冊十一図(二図))全四十七冊の熟覧調査を実施することができた。大部な資料なので、全体の撮影はかなわなかったが、必要な箇所についてはデジタル撮影で画像データを入力することができた。内容の分析も進めて、その一部を平成 29 年 8 月 5 日の慶応大学で開催された「奈良絵本国際研究集会」のシンポジウムで発表することができた。

また、平成 31 年 3 月から海の見える杜美術館で開催される特別展「幸若舞曲の絵入り本(仮題)」に、本調査研究の成果を盛り込む予定である。

研究成果物としては、平成 29 年 3 月に、幸若舞曲の絵入り本に関する本研究の成果を、『舞の本絵巻』の制作をめぐる諸問題-付、幸若舞曲の絵入り本一覽稿(増補改訂)にまとめ『国文学研究資料館紀要 文学研究篇第 43 号』に掲載した。この付篇「幸若舞曲の絵入り本一覽稿」は平成 13 年にまとめ

たものを大幅に増補・改訂したものであり、現存する幸若舞曲の絵入り本約 300 点の所在を一覧化したものであり、今後の絵入り本研究の基礎的な資料となると思われる。

#### 5. 主な発表論文等

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文](計 6 件)

小林健二、『舞の本絵巻』の制作をめぐる諸問題-付、幸若舞曲の絵入り本一覽稿(増補改訂) 国文学研究資料館紀要 文学研究篇、査読なし、第 43 号、2017、1-55

小林健二、「小敦盛」絵巻の変容 願得寺実悟の関与をめぐる、国語と国文学、査読なし、94-7、2017、1-20

小林健二、もう一つの能の楽しみ方 『能絵鑑』と『指面』、日本古典文学における中央と地方、査読なし、2026、88-101

小林健二、能画からみる楽劇史 研究資料としての能絵、楽劇学、査読なし、23 号、2016、69 - 78

小林健二、宮崎文庫記念館「敦盛」絵巻攷 翻刻と解題、かがみ、査読なし、46 号、2016、26 79

小林健二、物語絵の方法 スペンサー・コレクション蔵『呉越物語』絵巻をめぐる、絵が物語る日本 ニューヨーク スペンサー・コレクションを訪ねて、人間文化研究機構・国文学研究資料館編、三弥井書店、査読なし、2014、43 53

[学会発表](計 3 件)

小林健二、シンポジウム「説経節 情念の語り物」、パネリスト「説経の基層 唱導説話からのアプローチ」、神戸女子大学古典芸能研究センター、2015 年 11 月 28 日 於、神戸女子大学古典芸能研究センター

小林健二、シンポジウム「絵画からみた楽劇史」司会・パネリスト、楽劇学会、国立能楽堂、2015 年 6 月 28 日

小林健二、E A J S 国際研究集会 シンポジウム「変革期における幸若舞曲の展開 絵画化を軸として」司会・コーディネイター「『舞の本絵巻』研究の諸問題」、リュブリャナ大学、2014 年 8 月 29 日

〔図書〕(計 3 件)

小林健二、独立行政法人日本芸術文化振興会、能絵鑑、2017、55

小林健二、勉誠出版、国文学研究資料館影印叢書 6 『狂言絵 彩色やまと絵』、2014、139

小林健二 他、三弥井書店、絵が物語る日本 ニューヨーク スペンサー・コレクションを訪ねて、三弥井書店、2014、360

〔産業財産権〕

出願状況(計 件)

名称：  
発明者：  
権利者：  
種類：  
番号：  
出願年月日：  
国内外の別：

取得状況(計 件)

名称：  
発明者：  
権利者：  
種類：  
番号：  
取得年月日：  
国内外の別：

〔その他〕

ホームページ等

#### 6. 研究組織

##### (1) 研究代表者

小林 健二 (KOBAYASHI Kenji)  
国文学研究資料館・研究部・教授  
研究者番号：70141992

##### (2) 研究分担者

( )

研究者番号：

##### (3) 連携研究者

( )

研究者番号：

##### (4) 研究協力者

( )